

サーバ仮想化は中堅・中小企業にどこまで普及するのか？ 訴求の際の障壁とその解決策は何なのか？

## 2011年版 中堅・中小企業におけるサーバ環境の実態と展望レポート

有効回答数1000社のユーザ企業アンケートを元に、「新たなサーバ導入のための訴求ポイント」のヒントを探る一冊

基幹系、情報系、運用管理系といった各種業務システムの観点からは新たなサーバ導入機会を見出しにくいのが現状です。そうした中、大企業のみならず中堅・中小企業においても不可避な変化が「サーバ仮想化技術の活用」です。本レポートでは従来のサーバ用途/形状/スペック/購入元といった諸情報に加えて、サーバ仮想化技術に焦点をおいた集計・分析を行っています。新たなサーバ拡販施策のインプットとなる必携の一冊です。

### 調査対象とサンプル属性

対象企業年商：5億円以上～10億円未満 / 10億円以上～30億円未満 / 30億円以上～50億円未満 / 50億円以上～100億円未満 / 100億円以上～200億円未満 / 200億円以上～300億円未満 / 300億円以上～400億円未満 / 400億円以上～500億円未満 / 500億円以上～1000億円未満 / 1000億円以上

対象職責： 以下いずれかの権限を持つ社員

- ・ 情報システムの導入/構築/運用/管理における意思決定権を持ち、経営にも直接関与する
- ・ 情報システムの導入/構築/運用/管理における意思決定権を持つが、経営には直接関与しない
- ・ 情報システムの導入/構築/運用/管理の計画を立案し、上層部の意思決定を仰ぐ
- ・ 情報システムの導入/構築/運用/管理における実作業を担当する

対象業種： 組立製造業 / 加工製造業 / 流通業 / 建設業 / 卸売業 / 小売業 / IT関連サービス業 / サービス業(IT以外) / その他

対象所在地： 北海道地方 / 東北地方 / 関東地方 / 北陸地方 / 中部地方 / 近畿地方 / 中国地方 / 四国地方 / 九州・沖縄地方

従業員数： 10人未満 / 10人以上～50人未満 / 50人以上～100人未満 / 100人以上～300人未満 / 300人以上～500人未満 / 500人以上～1000人未満 / 1000人以上～3000人未満 / 3000人以上～5000人未満 / 5000人以上

IT運用管理体制：

- ・ 担当者は社員のみであり、全員が社内の専任部署(情報システム部門)に所属
- ・ 担当者は社員のみであり、社内の専任部署(情報システム部門)と社内の他部署との兼任の混在
- ・ 担当者は社員のみであり、全員が社内の他部署との兼任
- ・ 担当者は社員のみであり、所属部署は決まっておらず、年齢やスキルなどに応じて 個別に選出
- ・ 担当者は社員と社外の管理担当業者の混在
- ・ 担当者は全て社外の管理担当業者

サンプル数： 1000社(有効回答件数)

調査実施時期： 2011年1月～2月

### [設問項目(1/2)]

#### S1系列.サーバ活用の概要

S1-1. 現在利用しているサーバ台数

S1-2. 現在利用しているサーバの「用途」として当てはまるもの(いくつでも)

#### S2系列.サーバ活用の現状

S2-1. 現在利用しているサーバの「主な利用部門」

S2-2. 現在利用しているサーバの「導入時期」

S2-3. 現在利用しているサーバの「OSの種類」

S2-4. 現在利用しているサーバの「OSの購入形態」

S2-5. 現在利用しているサーバの「ベンダ名」

S2-6. 現在利用しているサーバの「CPUタイプ」

S2-7. 現在利用しているサーバの「サーバ形状」

S2-8. 現在利用しているサーバの「サーバの台数」

S2-9. 現在利用しているサーバの「導入時の経緯」

S2-10. 現在利用しているサーバの「購入先」

S2-11-1. 現在利用しているサーバの「構築作業担当者」

S2-11-2. 現在利用しているサーバの「構築作業の外注リソース」

S2-12-1. 現在利用しているサーバの「運用作業担当者」

S2-12-2. 現在利用しているサーバの「運用作業の外注リソース」

S2-13-1. 現在利用しているサーバの「管理作業担当者」

S2-13-2. 現在利用しているサーバの「管理作業の外注リソース」

## [設問項目(2/2)]

- S2-14. 現在利用しているサーバの「設置形態」
- S2-15. 現在利用しているサーバの「導入前の商品情報提供に対する評価」
- S2-16. 現在利用しているサーバの「商品情報の最も主要な入手先」
- S2-17. 現在利用しているサーバの「購入先の導入前の技術情報提供に対する評価」
- S2-18. 現在利用しているサーバの「技術情報の最も主要な入手先」

## S3.サーバ活用の今後

- S3-1. 新規導入や増強を検討している情報処理システム
- S3-2. 新規導入や増強の「実施予定時期」
- S3-3. 新規導入や増強を検討する際に最も重視するポイント(2つまで)
- S3-4. 利用予定サーバを選定する際に、最も重視する情報源や相談先
- S3-5. 利用予定のサーバ機種/ベンダの『選定』担当者
- S3-6. 利用予定サーバの機種/ベンダの『決定』担当者
- S3-7. 利用予定サーバの「OSの種類」
- S3-8. 利用予定サーバの「ベンダ名」
- S3-9. 利用予定サーバの「CPUタイプ」
- S3-10. 利用予定サーバの「サーバ形状」
- S3-11. 利用予定サーバの「サーバの台数」
- S3-12. 利用予定サーバの「導入時の経緯」
- S3-13. 利用予定サーバの「購入先」
- S3-14. 利用予定サーバの「1台当たりの購入金額」
- S3-15-1. 利用予定サーバの「構築作業担当者」
- S3-15-2. 利用予定サーバの「構築作業の外注リソース」
- S3-16-1. 利用予定サーバの「運用作業担当者」
- S3-16-2. 利用予定サーバの「運用作業の外注リソース」
- S3-17-1. 利用予定サーバの「管理作業担当者」
- S3-17-2. 利用予定サーバの「管理作業の外注リソース」
- S3-18. 利用予定サーバの「設置形態」

## S4.サーバ運用管理について

- S4-1. 現在抱えているサーバ管理の課題(いくつでも)
- S4-2. 「サーバ統合」への取り組み
- S4-3. サーバ形状に関連した省スペース化への取り組み(いくつでも)
- S4-4. サーバ仮想化技術の活用状況(いくつでも)
- S4-5. サーバ仮想化技術を適用しているサーバのうち、最も多くを占めるベンダ名
- S4-6. サーバ仮想化技術を適用する予定のサーバのうち、最も多くを占める見込みのベンダ名
- S4-7. 現在活用しているサーバ仮想化ソフトウェアのうち、最も主要なもの
- S4-8. 今後活用する予定のサーバ仮想化ソフトウェアのうち、最も主要なもの
- S4-9. サーバ仮想化技術を活用する際に障壁となる事柄(いくつでも)
- S4-10. 現在利用しているWindowsサーバOSの機能と役割(いくつでも)
- S4-11-1. 今後利用を予定しているWindowsサーバOSの機能のうち、最も優先する機能
- S4-11-2. 今後利用を予定しているWindowsサーバOSの機能のうち、二番目に優先する機能

本レポートのサンプル(調査報告リリース)は下記URLよりご覧いただけます。

[http://www.norkresearch.co.jp/result/2011server\\_usr\\_rel.pdf](http://www.norkresearch.co.jp/result/2011server_usr_rel.pdf)

## 価格とお申し込み方法

【価格】99,750円(税込)

【媒体】CD-ROM(分析サマリ: PDF形式、集計データ: Microsoft Excel形式)

【お申し込み方法】弊社ホームページからの申し込みまたはinform@norkresearch.co.jp宛にご連絡ください

**NORK RESEARCH**

株式会社 ノークリサーチ  
調査設計、分析、執筆: 岩上由高  
東京都足立区千住1-4-1 東京芸術センター1705  
TEL 03-5244-6691 FAX 03-5244-6692

[inform@norkresearch.co.jp](mailto:inform@norkresearch.co.jp) <http://www.norkresearch.co.jp/>